



福山

消防だより

第 280 号

2022年(令和4年)2月20日

福山市防火協会連合会

福山市沖野上町5-13-8

T E L 928-1191

春の火災予防運動

実施期間:3月1日(火)~3月7日(月)

福山地区消防組合管内の観光地とコラボレーションし、春の火災予防運動の動画を作成しました!



動画はこちらから
ご覧ください!

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

4つの習慣

- ① 寝たばこは絶対にしない、させない
- ② ストープの周りに燃えやすいものを置かない
- ③ こんろを使うときは火のそばを離れない
- ④ コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

6つの対策

- ① 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は**安全装置**の付いた機器を使用する
- ② 火災の早期発見のために、**住宅用火災警報器**を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- ③ 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、**防炎品**を使用する
- ④ 火災を小さいうちに消すために、**消火器**等を設置し、使い方を確認しておく
- ⑤ お年寄りや身体の不自由な人は、**避難経路と避難方法**を常に確保し、備えておく
- ⑥ 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、**地域ぐるみ**の防火対策を行う

火災発生状況

2021年(令和3年)中に福山地区消防組合管内で発生した火災概要は、次のとおりです。

火災件数は95件で、前年と比較して13件の増加となっています。

火災種別では、車両火災及び船舶火災は減少していますが、建物火災及びその他の火災は増加しています。

建物火災は、63件発生しており、火災全体の66.3%を占めています。

主な火災原因は、たき火が18件と最も多く、続いて放火(疑いを含む)・たばこ・配線器具・こんろの順番となっています。

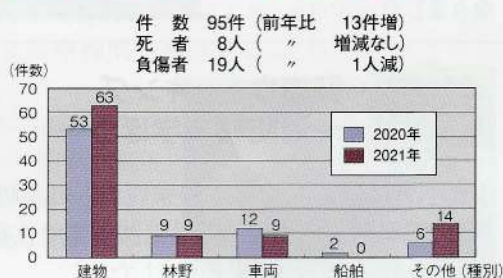
死者は増減なしの8人で、**負傷者**は1人減少の19人発生しています。火災の死亡原因で最も多い「逃げ遅れ」を防ぎ、火災から命を守るために、火災の発生を早期に感知し知らせる「**住宅用火災警報器**」の設置と維持管理をお願いします。

2022年 福山消防出初式の中止について

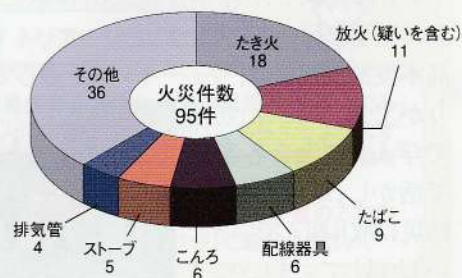
1月9日に予定されていた「2022年 福山消防出初式」は、広島県内での新型コロナウイルス感染症の拡大状況から中止とさせていただきます。

図 消防局警防課 ☎928-1193

福山地区消防組合管内 火災発生状況



主な火災原因



西
NISHI

ドン.キホーテで火災予防

昨年8月にオープンした西消防署管内最大の商業施設「MEGAドン.キホーテ松永店」のご協力で、店内入口に秋の火災予防運動と年末特別火災予防運動のポスターや、「火の用心」・「住宅用火災警報器の設置と維持管理」のぼりを掲出させていただき、火災予防の啓発を行いました。



南
MINAMI

消防クラブが防火パレードで「火の用心」

秋の火災予防運動に合わせ、まつば保育所幼年消防クラブは太鼓とのはりを手に、また、年末特別火災予防運動に合わせ、光学区少年少女消防クラブの鼓笛隊がそれぞれ防火パレードを実施しました。クラブ員の園児・児童は、地域の人たちの応援を受けながら、元気よく「火の用心」を唱え、火災予防を呼びかけました。



北
KITA

コロナに負けず 防火教室を開催

11月10日、秋の火災予防運動中に北消防署で防火教室を開催し、水消火器での消火訓練・119番通報訓練・天ぷら油火災の消火訓練を実施しました。

参加者は真剣に取り組み「水消火器を実際に使って、使用方法が良く分かった」など数多くの声がありました。

万一に備えて初期消火技術を習得し、更なる防火意識の向上が図れ、大変有意義な防火教室となりました。



深安
FUKAYASU

みんなで取り組む防災・減災!!

11月28日、福山市総合防災訓練の日に中条支部は、各町内会単位での防災訓練にそれぞれ参加しました。

子どもから高齢者までの多くの人々が参加して避難訓練や消火訓練等を行う中で、災害時には近所や地域で助け合うことの重要さを感じるとともに、日頃からのつながりの大切さも改めて確認できた1日となりました。



芦品
ASHINA

健康ウォーキング ～消防署で学ぼう～

12月5日、駅家西支部は駅家西学区自主防災組織と連携し、駅家西交流館から芦品消防署まで往復約6kmの「健康ウォーキング」を実施しました。

参加者148人は、消防署で水消火器による消火訓練、テントに充満した煙からの脱出体験と救助訓練・消防車の見学を行いました。

高本俊徳支部長は「ウォーキングを通じて地域の仲間づくりができ、また、消防署で学んだことを各家庭で活かし、地域ぐるみで防災に取り組んでいきたい」と話していました。



東
HIGASHI

あなたの家は大丈夫?



住宅火災をなくすため、東防火協会の会員に「あなたの家の防火診断」のチェックシートを配付しました。各家庭でのセルフチェックを通して「街ぐるみ 家族ぐるみで 防火の輪」を推進していきます。

火災対応訓練から火災性状を学ぶ!!

広島県消防学校で、実火災に近い環境で実践的な火災対応訓練を実施しました。

木造建物火災の火災性状(燃え広がり方)

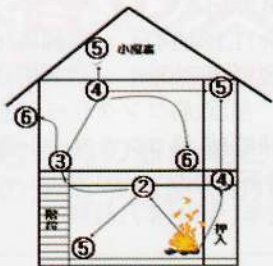
1階で出火→建具や家具→天井→内装板の裏側→フラッシュオーバー→上階、隣接建物
(爆発的な燃焼現象)

木造家屋は、出火から約7分～15分で最盛期に達します。

一般的な延焼経路

火災の延焼を時間で見ると、非常に短時間で燃え移ります。

- 1 出火後2分前後で、壁などの立ち上がり面に燃え移る。
- 2 天井に燃え移るまで2分30秒前後。出火の場所や状態によっては、もっと早い。
- 3 5分後には、出火の部屋は火の海。隣り合わせの部屋へ移り、2階へと移っていく。



(※構造や環境で変化します。)

Q 火災の煙の特徴や対策は?

A 火災で発生する煙には、強い毒性のある一酸化炭素が含まれているから、煙を吸うと一瞬で動けなくなって、火災に巻き込まれてしまうこともあります。
一酸化炭素は、空気より軽くて高い位置に充満するから、ハンカチなどで口と鼻を押さえて浅い呼吸をし、低い姿勢で、壁をつたって避難することが大事です。

おしえて!消防Q&A

「特殊災害」に備えて!

12月7日、旧出原浄水場において、南消防署・北消防署・警防課・救急救助課が合同で特殊災害事案対応訓練を実施しました。今回の訓練は、工場内で劇物の「塩素」が漏えいして、作業員が負傷したとの想定で、南消防署高度救助隊が陽圧式化学防護服で救助活動、南消防署除染隊が化学防護服で除染活動を行い、その後、救急隊が負傷者の負傷レベルに応じて処置や救急搬送を行いました。特殊災害は、多くの人員と特殊な資器材が必要であるため、定期的に訓練を実施しています。



おしえて!消防Q&A

Q 特殊災害ってなに?

A 化学物質、生物剤若しくは放射性物質が、事故やテロなどによって漏えい・流出・拡散等して発生した災害のことです。
過去の事例には、地下鉄サリン事件・福島第一原発事故等があります。

「消防士の仕事紹介～特殊災害訓練～ダイジェスト動画」を是非ご覧ください。



突然の「集団災害」に備えて!



10月26日、箕島町において、南消防署・瀬戸出張所・警防課・救急救助課が合同で大規模救急事故対応訓練を実施しました。今回の訓練は、自転車競技中に選手が集団で転倒し、多数の負傷者が発生したときでも、各隊が確実に連携して災害対応することと、トリアージにより負傷者を適切に医療機関へ搬送することを目的として実施しました。

訓練実施後には検討会を行い、各隊の連携や実災害での初動対応を再確認でき、有意義な訓練になりました。



おしえて!消防Q&A

Q トリアージってなに?

A 多数の負傷者が発生した事故現場等で、1人でも多くの人に最善の治療を受けてもらえるようにするため、緊急度や重症度に応じた治療の優先順位を決める方法です。
重症者の対応を優先させるため、軽症者の方の対応が遅くなることがありますが、ご理解ください。

深安消防署新庁舎が完成

深安消防署(神辺町)の建替工事が完了し、2022年(令和4年)3月7日から新庁舎で消防業務を行います。49年間の役目を果たし、生まれ変わった新庁舎は、災害出動時間の短縮等に配慮した建物配置となっています。また、1階に事務所を設けるなど、地域住民が便利で親しみやすい庁舎となるように工夫されています。深安消防署は、耐震性能を備えた高機能防災拠点として「地域住民の安心と安全の確保」のため、益々大きな役割を果たしていきます。



名 称	福山地区消防組合深安消防署
敷地面積	2,736.35㎡
建築面積	(庁舎)1,134.14㎡ (訓練塔)62.38㎡
延床面積	(庁舎)1,987.68㎡ (訓練塔)226.90㎡
構 造	(庁 舎)鉄筋コンクリート造3階建(一部鉄骨造) (訓練塔)鉄筋コンクリート造5階建
工 期	2020年(令和2年)9月着工 2022年(令和4年)1月竣工

善行市民表彰を受賞

福山市東防火協会副会長 山本 政男様

12月11日、リーデンローズ大ホールにおいて、福山市防火協会連合会理事で福山市東防火協会副会長の山本政男様(春日学区)が、永年にわたり地域の防火防災活動を展開され、災害のないまちづくりに尽力されたご功績により、善行市民賞「せんだん賞」を受賞されました。心からお祝いを申し上げます。

命の守り方について考えよう!

福山市防火協会連合会と東・西・南・北・深安・芦品防火協会は、福山地区消防組合のご協力のもと「命の守り方について考えよう!」カレンダーを作製しました。

このカレンダーは、自分や大切な人の命を守るために、日頃から備えが必要な内容を、月毎にテーマを変えて掲載しています。いざというときに、行動できるように是非活用してください。



「命の守り方について考えよう!」カレンダー →

福山市消防団員を募集しています

福山市消防団では、随時消防団員を募集しています。福山市消防団に興味のある18歳から60歳までの方で、福山市内に在住または勤務している方は、ご連絡お待ちしております。

福山市消防団では、市内のデジタルサイネージ(電子看板)を活用し、消防団のPR動画を放映し団員募集を行っています。

このたび福山市消防団PR動画コンテストを行い、6方面隊(千年分団)が作成した動画がグランプリに輝きました。今後、市内の電子看板で放映を予定しています。

また、消防団員募集ポスターを新たに作成しました。デザインは、女性分団が担当し、モデルは、在籍する学生消防団員です。

消防団に興味のある方は、消防局警防課(消防団事務局：928-1193)までお問い合わせください。



HP →

